

私立大学図書館協会 2008年度第2回常任幹事会議事要録

1. 日 時 2008年12月5日(金) 午後2時～午後4時25分
2. 場 所 龍谷大学大宮学舎 西翼2階 大会議室
3. 出席者 出席者名簿参照(別紙)

議事に先立ち、会長校中央大学図書館の古城館長(議長)より挨拶の後、開会が宣せられた。

<報告事項>

1. 会務報告

(1) 加盟校数について

会長校中央大学(荒木)より、配付資料(p.3)に基づき報告があった。

①2008年度加盟校数は、2008年9月11日承認時点、東地区255校、西地区259校、合計514校である。

②2009年度新規加盟校(予定)は、2008年11月15日現在、申し込みはない。

(2) 加盟館名称変更

会長校中央大学(荒木)より、配付資料(p.3)に基づき報告があった。

2008年11月15日現在で、1件連絡があった。

東北工業大学附属図書館二ツ沢分館 → 東北工業大学附属図書館長町分館

(3) 未加盟校への勧誘について

会長校中央大学(荒木)より、配付資料(p.3)に基づき、本協会未加盟校に対して、会長校より資料を10月6日付で送付し、加盟についての案内を行ったとの報告があった。

(4) 加盟校への書類等の送付について

会長校中央大学(荒木)より、配付資料(p.3)に基づき、報告があった。

①9月19日付発送

ア. 研究助成の募集関係

○2009年度 研究助成の募集について(お知らせ)

○研究助成応募要領

○私立大学図書館協会研究助成申込書(様式A~D)(課題研究説明資料含む)

○2008年度第2回寄贈資料搬送事業実施について(ご案内)

○寄蔵資料搬送申請書

②10月10日付発送

ア. 2008年度協会賞受賞候補者の推薦について(依頼)

イ. 2009年度海外派遣研修(長期研修)の参加募集について(お知らせ)

(5) 会報第130号の刊行について

会長校中央大学（荒木）より、会報130号を2008年9月8日に刊行し、第131号は、現在、会報担当校（共立女子大学）、総会当番校（國學院大學）で準備中との報告があった。

2. 東地区部会報告

東地区部会長校帝京大学（中嶋）より、配付資料（p.5）に基づき、8月から11月までの報告があった。

3. 西地区部会報告

西地区部会長校大阪学院大学（矢田部）より、別紙資料に基づき、8月から11月までの報告があった。

4. 委員会報告

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.7-8）に基づき、報告があった。

(1) 国際図書館協力委員会

①海外集合研修

10名で実施する。

②国際シンポジウム

今年度は行わないことがほぼ決定的となった。

③2009年度海外派遣研修

11月14日締切までに応募がなかった。

(2) 協会ホームページ委員会

第3回委員会報告の報告があった。

5. 協会関連事項報告

(1) 国公立大学図書館協力委員会報告

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.8）に基づき、報告があった。

6. 2008年度研究助成辞退について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.9）に基づき、報告があった。

7. 2008年度研究助成・サーバ使用料の支払いについて

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.10）に基づき、報告があった。

8. 協会賞と研究助成の応募について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.11）に基づき、報告があった。

9. ホームページ運用要領の改正について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.12-15）に基づき、報告があった後、協会ホームページ委員長（川越）より補足説明があった。

10. 日本図書館協会施設会員評議員について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.16）に基づき、評議員会での議決権、大学図書館部会について報告があった。

11. 次々期役員校、総会当番校の選出について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.16）に基づき、報告があった。

（1）選出状況について、東・西地区部会長校より追加報告があった。

（2）2013—14年度会長校については、当初東海地区から選出予定であった。しかし、2013年度は部会長校、総会当番校、部会総会当番校も東海地区からの選出を予定していることから、会長校候補は京都地区からの選出に変更することで作業を進めているとの報告が西地区部会長校よりあった。

（3）役員校選出については、以前は早期に依頼していたが、特段取り決めがなかった。そのため、現役員校任期中に、次々期：2011年度—2012年度まで最低限選出することとしたことを再確認した。

12. 2008年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.17-19）に基づき、報告があった。

13. 2008—2009年度行事・会議予定について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.20）に基づき、報告があった。

< 協議事項 >

1. 2008年度一般会計・特別会計支出状況について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.21-25）に基づき、2008年度一般会計・特別会計支出状況（11月15日現在）について提案説明があった。

協議の結果、異議なく了承された。なお、2009年度総会での監査報告については、現監事校・龍谷大学が担当することを確認した。

（主な説明）

[一般会計]

「収入の部」

（1）「会費」の予算額は、昨年度末の加盟校数506校を基礎数としており、「決算額」は新規加盟校（8校）を加えた会費収入である。506校についてだけで見ると、学生数の減少により2万円ほど減収が起きていた。

「支出の部」

（1）運営費は、年度末までさらに支出が見込まれる。

（2）役員会費については、第2回東西合同役員会の会場費に使用する予定である。今

年度については、新旧交代のため人数も多いことから、会場費もその分多くなる予定である。

- (3) 事業費の内、「4. 会報刊行費、9. 協会 HP 有料サイト利用料」を除いては、決算確定数字である。
- (4) IFLA 負担金は、514→523 ユーロに値上がりしている。
- (5) 協会 HP 有料サイト利用料については、第1回東西合同役員会でも報告しているように、前年度に前払いするサイクルとなった。
- (6) 11月15日現在での次年度繰越金は、約1,460万円となっているが、前年度より130万程度増える見込みである。

[特別会計・研究助成]「収入の部」

- (1) 寄付金は、10月に丸善、雄松堂、紀伊國屋書店の3社に依頼した。

「支出の部」

- (1) 研究助成金は、1件辞退があったことを反映している。

[特別会計・国際図書館協力]

- (1) 現時点で確定していないため、東西合同役員会で決算を提案することになる。
- (2) 現在のところ、国際図書館協力委員会が実施する国際シンポジウムは未実施が確定している。
- (3) 国際図書館協力基金については、入金状況がよくないため、委員会とも対策を考えたい。21社に依頼したが、10月31日時点で7社85万円であったので、11月6日に再度依頼書を送付した。現在は、9社110万円である。
- (4) 海外集合研修は12月に実施される予定であるが、費用については予算額に近い執行となる予定である。

「総会・研究大会特別会計」

- (1) ほぼ確定しており、残金が発生している。
- (2) インフォデスクについては、昨年11社より15社に増えたこと、学内施設を使用したことにより、会場設営費・会場運営費が抑えられたこと、意見交換会に使用する適当な外部施設が大学近辺になかったことが要因であり、本年の特殊事情と思われる。
- (3) 支出超過は困るが、残額を残さなければならないというプレッシャーを次期総会当番校に与えるのではないかと危惧している。経費、開催規模で当番校が負担とならない開催を今後も模索すべきと考える。

2. 2009年度事業計画（案）について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.26-29）に基づき提案があった。協議の結果、異議なく了承された。

3. 第70回（2009年度）総会・研究大会について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.30）に基づき、説明があった。協議の結果、異議なく了承された。

(主な説明)

- (1) 12月19日に、新旧総会当番校、会長校で引継打ち合わせを行う。3月の第2回東西合同役員会では、もう少し詳細な日程と、予算案が提出される予定である。
- (2) 現在、海外集合研修報告、海外派遣研究、研究助成最大3、合計5コマが予定されている。総会当番校が企画する部分が少なくならないように、一部については、報告書の形で代えることを考えている。
- (3) 今後、国際図書館協力委員会、研究助成委員会とも相談する予定である。

4. 2009年度一般会計・特別会計予算(案)について

会長校中央大学(荒木)より、(配付資料 p.31-34)に基づき、提案があった。
協議の結果、異議なく了承された。

(主な説明)

[一般会計]

「収入の部」

- (1) 会費は、2008年度の加盟校数514校で、2008年度実績で予算化。
- (2) 前年度繰越金は、2008年度決算額を入れるので、現在は決算見込みを参照した概算である。

「支出の部」

- (1) 運営費は、2007年度実績、2008年度支出見込みから2008年度予算から変更しなかった。
- (2) 事業費の協会賞費は最大枠(4件)を予算化。協会賞審査委員会の結果を待って修正する場合もある。
- (3) 会報刊行費は、近年残額を生じているが、会報担当理事校の裁量範囲等を考慮し、今回も減額をしなかった。
- (4) 部会交付金は、@13,000×514校分として計上した。昨年度より8校分増額となる。
- (5) 名簿刊行費は、事業計画、本日の協議事項ともなっているように、冊子体での作成を中止することを前提に、予算額を0円とした。
- (6) 協会HP有料サイト利用料は、2010年度分を前払いする金額を計上した。
- (7) IFLA負担金は、2009年1月より退会となるので、2009年度予算は0円とした。

[特別会計・研究助成]

「収入の部」

- (1) 前年度の繰越金は、2008年度決算の額を入れるため、現在は概算としている。
- (2) 寄付金は、2008年度と同額を計上した。

「支出の部」

- (1) 研究助成金は、60万円2件・120万円を予算化した。

[特別会計・国際図書館協力]

「収入の部」

- (1) 前年度繰越金は、2008年度決算額を入れるため、現在は概算としている。
- (2) 国際図書館協力事業支援費は、2008年度と同額を計上した。
- (3) 国際図書館協力基金については、入金状況がよくないので、委員会とも協力し対応を考える必要があることを次期会長校に引き継ぎたい。この2年の状況から15万円減額とした。
- (4) 事業収入は、シンポジウムが開催されることを前提に計上した。
- (5) 海外集合研修については、今年度訪問先が韓国になり、参加費を3万円としていたが、来年度については、未定のため、参加費を5万円、7人分という従来 of 金額とした。

「支出の部」

- (1) シンポジウム運営費は、1回分として前年度と同じ金額を記入した。
- (2) 海外派遣研修は、現在応募がないため未実施の可能性が高いが、前年度と同じ金額を計上した。

[特別会計・総会・研究大会]

- (1) 収入、支出とも前年度と同額を予算化した。今後、第2回東西合同役員会までに当番校の佛教大学に予算作成を依頼することになる。

5. 次期委員会委員について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.35、38-41）に基づき、提案があった。協議の結果、異議なく了承された。まだ、未確定のところについては、第2回東西合同役員会までに確定させることとした。

6. 加盟図書館名簿の作成について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.35）に基づき、提案があった。協議の結果、異議なく了承された。第2回東西合同役員会に引き続き提案し、了承されれば、2009年度より冊子での作成を止めて、協会ホームページの加盟図書館名簿に一本化することになることを確認した。

< 懇談事項 >

1. 次期役員校、総会当番校の選出について

報告事項11.でも状況を確認したので、懇談は行わなかった。

以 上

<資料訂正>

会長校作成資料

		<誤>		<正>
p. 1	下から 1 行目	<u>2008</u> 年度事業計画	→	<u>2009</u> 年度事業計画
p. 3	上から 4 行目	<u>2007</u> 年度加盟校数	→	<u>2008</u> 年度加盟校数
p. 3	上から 8 行目	<u>2008</u> 年度新規加盟校	→	<u>2009</u> 年度新規加盟校
p. 3	上から 11 行目	<u>2008</u> 年度加盟校数	→	<u>2009</u> 年度加盟校数
p. 5	下から 3 行目			
		NPO 法人男女 <u>参画共同</u> おおた	→	NPO 法人男女 <u>共同参画</u> おおた
p. 7	上から 11 行目	海外派遣研修について	→	海外派遣研修について
p. 7	上から 20 行目	10月21日 <u>(金)</u>	→	10月21日 <u>(火)</u>
p. 8	上から 8 行目	11月 <u>12</u> 日(火)	→	11月 <u>11</u> 日(火)
p. 10	下から 8 行目	(3) 明治大学・中林への確認	→	(3) 明治大学・中林 <u>氏</u> への確認
p. 18	上から 9 行目	野口秀 <u>美</u>	→	野口秀 <u>実</u>
p. 25		②国際図書館協力基金特別会計 <u>]</u>	→	②国際図書館協力基金特別会計 <u>_</u>
p. 39	(4) ホームページ委員会			
		野口秀 <u>美</u>	→	野口秀 <u>実</u>

西地区部会長校作成別紙資料

		<誤>		<正>
p. 西-1	下から 8 行目	承 <u>号</u> 事項	→	承 <u>合</u> 事項